

親子三代で築いた、肉用牛繁殖経営

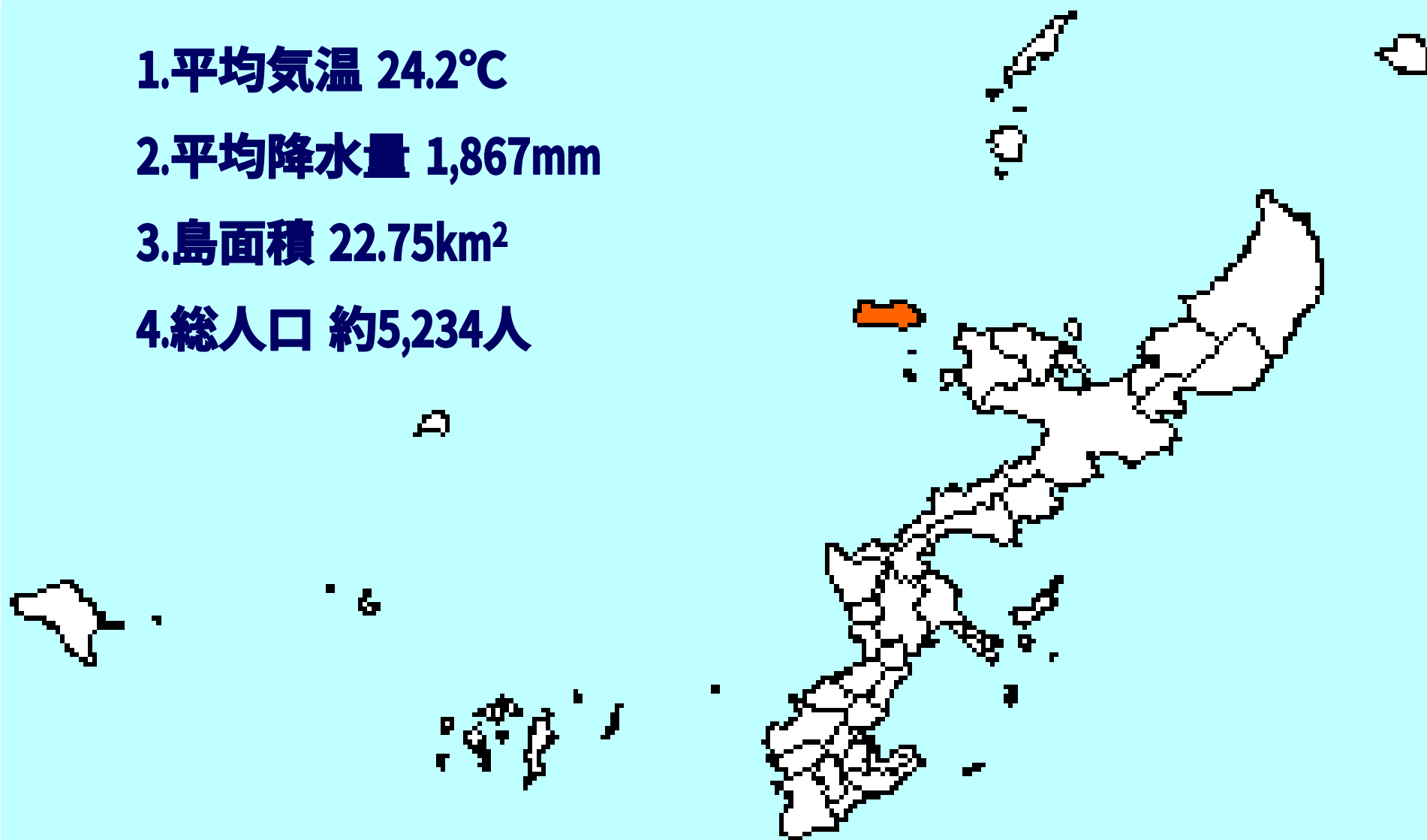
～地域特性に根ざした経営を目指して～



沖縄県国頭郡伊江村
山城畜産組合

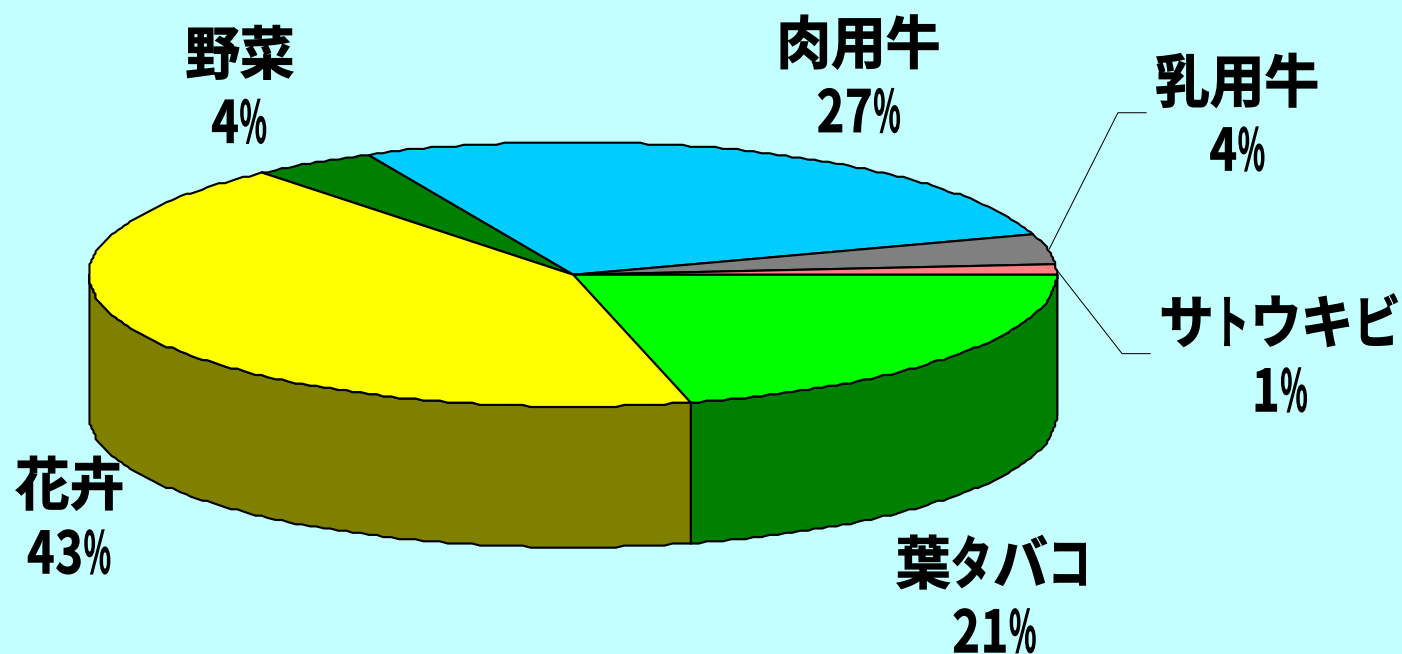
＜伊江村の概要＞

- 1.平均気温 24.2℃
- 2.平均降水量 1,867mm
- 3.島面積 22.75km²
- 4.総人口 約5,234人



<伊江村農業産出額の割合>

総産出額: 38億4千万円



農業産出額のうち畜産部門は12億で肉用牛が87%を占める

<経営・活動の推移>

年 次	成雌牛 頭 数	草地 面積	経営・活動の内容
昭和55年	9頭	0.5ha	<u>祖父から肉用牛経営を引き継ぐ</u>
平成2年	25頭	3.0ha	伊江村和牛改良組合副組合長
平成8年	30頭	9.0ha	伊江村受精卵移植センターへの設立へ携わる
平成10年	40頭	10.0ha	肉用牛専業経営となる（その他作目は廃止）
平成11年	50頭	10.0ha	<u>山城畜産組合（任意組合）を設立</u> <u>組合構成員として肉用牛経営に参画</u>
平成12年	74頭	13.2ha	<u>沖縄農業基盤確立農業構造改善事業により100頭規模</u> <u>の牛舎および草地管理機械一式を取得</u> <u>早期離乳およびカウハッチの導入</u> <u>パソコン（肉用牛経営分析システム）を導入</u>
平成14年	103頭	13.7ha	経営管理を任せられる
平成16年	119頭	16.5ha	<u>哺乳ロボットを導入</u> <u>島内のJA肥育センターと連携しTMRを取り入れる</u>
平成18年	126頭	16.5ha	<u>人工授精免許を取得</u>

< 自給飼料の生産と利用状況 >

平成18年1月～12月

飼料の作付形態	面積 (a)		総収量 (t)	主な 利用形態	所有区分
	実面積	のべ面積			
・ローズグラス ・ジャイアント スターグラス ・グリーンパニック ※上記、三品種の 混藩	495	2,970	506	ヘイレージ (ロールバール)	借地 (無償) *米軍演習場
	297	1,782	302	ヘイレージ (ロールバール)	借地 (無償) *伊江島空港
	445	2,670	452	ヘイレージ (ロールバール)	借地 (有償) *村有地・小作地
	413	2,478	420	ヘイレージ (ロールバール)	自己所有地

＜自給粗飼料の生産＞



<自給飼料の生産と利用状況>

平成18年1月～12月

飼料の作付形態	面積 (a)		総収量 (t)	主な 利用形態	所有区分
	実面積	のべ面積			
・ローズグラス ・ジャイアント スターグラス ・グリーンパニック ※上記、三品種の 混藩	495	2,970	506	ヘイレージ (ロールバール)	借地(無償) *米軍演習場
	297	1,782	302	ヘイレージ (ロールバール)	借地(無償) *伊江島空港
	445	2,670	452	ヘイレージ (ロールバール)	借地(有償) *村有地・小作地
	413	2,478	420	ヘイレージ (ロールバール)	自己所有地

特色



利用している採草地の約50%は伊江島空港のエプロン部分
や米軍演習場といった農用地以外



無償借用なため粗飼料の増産と経費節減につながっている

＜農用地以外を採草地として利用＞



<繁殖牛舎および堆肥舎全景>



＜繁殖牛舎に隣接するパドック＞



<哺育牛舎>



<哺乳ロボットによる授乳>



<子牛・育成牛舎>



<TMRの利用>



<子牛の出荷状況>

項 目	雌子牛			去勢子牛		
	県指標	平成15年	平成18年	県指標	平成15年	平成18年
出荷日齢 (日)	240	271	248	240	256	236
出荷体重 (kg)	230	239	225	260	250	242
日齢体重 (kg)	0.958	0.882	0.907	1.083	977	1,025
単 価 (円/kg)	1,371	1,403	1,852	1,371	1,612	1,963

平成15年：哺乳ロボット導入前 TMR利用なし

平成18年：哺乳ロボット導入後 TMR利用あり

<堆肥化处理>



◎処理方法
ホイルローダーで切り返し

ふん尿混合+敷料

一部戻し堆肥利用



堆肥販売



耕種農家



◎利用の内容
10% 販売 90% 自家利用

<パソコンを活用した経営管理>



<主な取り組み・活動内容>



地域の組織活動を通した畜産仲間との交流

- ・ 情報交流や勉強会、共同作業の実施協力



地域活性化のための活動等

- ・ 消費者との交流や地域イベントへの参加・協力



耕畜連携による地域資源循環型畜産

- ・ 農用地以外の活用による牧草生産
- ・ 資源リサイクル用の古紙を敷料として利用
- ・ 生産堆肥による耕畜連携



地産地消への取り組み

- ・ 島内の精肉店や焼肉店への和牛牛肉の提供



畜産への理解を深める活動

- ・ 子供達の見学の受け入れや家畜とのふれあいを通した情操教育の実施

<民俗芸能の練習風景>

本人



役場畜産担当



妻



父

<今後の目指す方向性と課題>

1.課題



定期的な草地更新を実施すると共に、堆肥を還元し土壤改良を図っていく



繁殖牛群の資質向上を図るため自家育成牛を主体に成雌牛の更新に取り組む

2.方針



生産法人組織への移行



更新牛の飼育直し肥育や一産取り肥育を取り入れ、地域へ安価な伊江島産和牛肉の地産地消の普及



現状の成雌牛130頭規模に一産取り肥育70頭規模にて、年間所得2,000万円を目標に安定ゆとりある経営を目指す

ご清聴ありがとうございました。

沖縄県 伊江村役場の公式ホームページ
<http://www.iejima.org/ieson/>